

地域の女性ボウサイまちづくり

平成 25 年度からはじまった地域の防災まちづくり。高齢者の多く住むこの地域で、女性だけでボウサイまちづくり会議を始めました。女性の行動力と生活に密着した視点からの提案には共感するものがたくさんありました。

☆女性のボウサイまちづくり会議

昨年度行われた「女性のボウサイまちづくり会議」。イザというときに何が必要なのか？について話し合いました。水害にもみまわれたことのある地域でしたので、水害時の体験の共有と、火事の際はどうするのか、地震の際は？そのとき家族は？独居の高齢者は？などさまざまなことが話題になりました。

この会議が始まったことを契機として市内で開催された女性を対象にした防災のイベントに参加した方が、その情報を共有してくださいました。

☆チラシを作成

数年前に各戸に配布されていた岡崎市の「防災ハンドブック」から、地震が起こったときの数分の行動を抜粋しました。そこへ、大切な情報だけを記入できる欄を設けたり、緊急の「171」ダイヤルのかけ方を裏面に掲載したりと情報を絞ってチラシを作成しました。

いろいろな工夫を込めたチラシです。ただ配布するのではごみになってしまうという懸念から、出来る限り説明して手渡しをすることにしました。組長さんと共に回る、募金を集める機会を利用する、配布用の説明文も用意するなどのアイデアを出し合いました。情報共有しながら、1年かけて各町の状況に合わせて配布していこうということになりました。

☆そのほかには

水消火器体験、非常食体験とセットでのボウサイトイレの体験など、今まで思っても表現しなかったことが今後の目標として出てきました。5町の報告会でも報告しましたが、好評で、町内の男性も協力して下さることに。



☆地域の女性として小さい子どもや高齢者のことを配慮したり、介護に携わっている経験から高齢者の感情や行動を共有したりしながら、チラシを作成しました。生活に密着した女性ならではの経験に基づくアイデアが盛り込まれたチラシとなりました。

楽しみながら自分たちのペースで確実に進めていく。素敵な女性に逢えたことに感謝しています。